

サイエンスアゴラ 2020 にて

「弦巻楽団×北海道大学 CoSTEP インヴィジブル・タッチ」公演

～演劇を用いた情報提供で、接触確認アプリ（COCOA）の社会実装について市民同士が議論する～

【概要】

北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）は、札幌の劇団「弦巻楽団」と協働して、サイエンスアゴラ 2020 にて、オンライン演劇を用いた、新しいスタイルの科学技術コミュニケーションに挑戦します。

サイエンスアゴラは、科学と社会の関係を深めるために、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が、年1回主催するイベントです。今回は、オンライン開催となり、全国の人びとが参加できるようになりました。

今回のテーマは、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐために導入された、接触確認アプリ（COCOA）です。

【趣旨】

ソーシャルディスタンス、新しい生活様式…。新型コロナウイルス感染症の流行は、社会のあり方を大きく変えました。その中の一つに、接触確認アプリの導入があります。感染の疑いが強い人と濃厚接触した可能性があることを伝えるアプリは、私たちに感染症の収束をもたらす可能性がある一方で、思いもよらなかった技術の負の影響をもたらす可能性があります。

今回の試みのユニークな点は、接触確認アプリの社会実装と、その技術を受け入れる社会の界面に生じる問題を、オンラインコミュニケーションツールZoomを用いたりモット演劇で表現するところです。大学の教育研究機関に所属する科学技術コミュニケーターによる原案と、札幌のプロの劇団による書き下ろしの脚本・演出による協働作業で制作された戯曲は、演劇としての完成度も高く、見応えのあるものになっています。

第一幕と第二幕の幕間に、観客同士は、Zoomの機能である「ブレイクアウトルーム」を使って、小グループに分かれ、接触確認アプリの是非について話し合います。そしてその後に、第二幕を見るプログラム構成になっています。

オンラインによる市民参加、演劇を用いた情報提供、大学と劇団の異分野共創、そして接触確認アプリの利用の是非についての熟議にご関心があれば、ご参加をお待ちしています。

【日 程】 2020年11月15日（日）17:30～19:30

【場 所】 オンライン配信（配信場所：北海道大学高等教育推進機構棟）

【主 催】 一般社団法人劇団弦巻楽団

北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）

【対 象】 高校生以上、誰でも

【募集人数】 100 名程度

【参加費】 無料

【言語】 日本語（同時通訳無し）

【Web】 <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/costep/contents/article/2230/>

【申込方法】 https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/2020/planning/planning_1509.html

*本プロジェクトは、科学研究費助成事業 基盤研究（C）「演劇を用いた科学技術コミュニケーション手法の開発と教育効果の評価に関する研究（課題番号 19K03105）」（研究代表：種村剛）の助成による。

お問い合わせ先

北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター 科学技術コミュニケーション
教育研究部門（CoSTEP） 担当 種村 剛（たねむらたけし）

T E L 011-706-5320 F A X 011-706-5320 メール tanemura@open-ed.hokudai.ac.jp

U R L <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/costep/contents/article/2230/>

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp